autocult

Porsche 917/20 Designstudie (イタリア, 1969)

レンスポート

scale 1/43

#07025

available

09/2022

limitededition 333 Stck.

ミニチュア化された実験車両

未来のポルシェ　917の空力設計のために、1968年以降、工場では1/4スケールのミニチュアがテスト車両として使用された。これは最終的に現実のテンプレートとして使用されることはなかったが、ポルシェの責任者であるリヒャルト・セーダーベルグの周囲の技術者たちは、社内でこのモデルの開発を続けていた。彼らは1/4スケールのモデルを改良し、修正を加え、最終的に第一級の流線型を実現した。一方、チーフデザイナーのアナトール・ラパンも、ダウンスケールしたマシンの完成度に太鼓判を押した。しかし、最終的にできあがったモデルは、原型とあまり変わらなかった。

白いオリジナルのボディにプラスティックを多用し、フロントエンドはタイプ908/03をベースにした形状を作り、リアエンドは控えめに上向きに傾斜し、短いデザインにした。ホイールは完全に車体で覆われ、空力面では第一級であった。その後、エアアウトレット、ヘッドライト、テールライトなど、細部に至るまで改良が加えられ、最終的に試作車はシルバーカラーのニスと架空のカーナンバー「3」を手に入れた。

しかし、豊富な発想力は外皮だけでなく、その内部にも潜んでいた。このときにも、ドライバーが情報を読み取るためのスクリーンが開発された。ダッシュボードパネルのスイッチ類も、未来志向のインテリアであることを物語っている。1/4モデルの集中的な開発の過程で、優れた抗力係数を持つレーシングカーを開発するという当初の目標は薄れ、希望的観測も相まって、ドライバーのための情報源としてコックピットにコンピューター技術を集中的に使用するという未来のドライビングのビジョンが優先されるようになった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de